



上向台小だより

10月号

西東京市立上向台小学校

令和6年10月1日

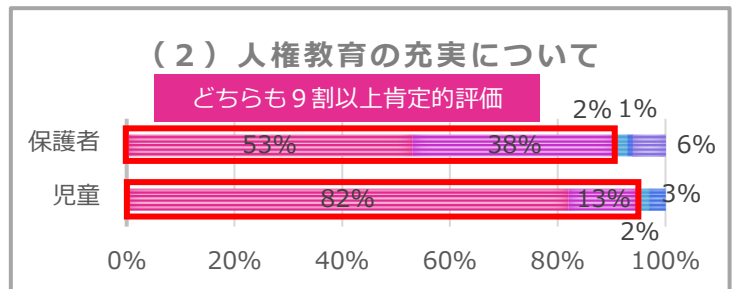
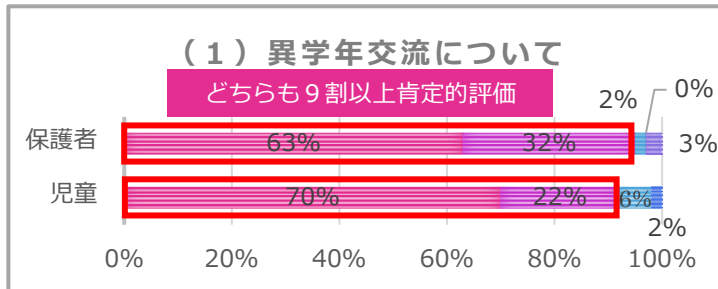
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

みんなの声をカタチに！ 学校評価を生かし、さらなる学校改善を！！

経営専任主任

本年度より経営専任主任となりました。経営専任主任は、経営支援部の主任です。経営支援部は、副校長業務の支援や学校内の資源管理、教員間の仕事の調整、保護者・外部の方々を学校や児童とつなぐことなど、様々な役割があります。今回は、その役割の一つ、学校評価アンケートの児童及び保護者の結果について、特徴的な部分を御報告します。項目ごとに詳しく内容をまとめたアンケート結果の報告資料は、後日お知らせいたしますので御覧ください。

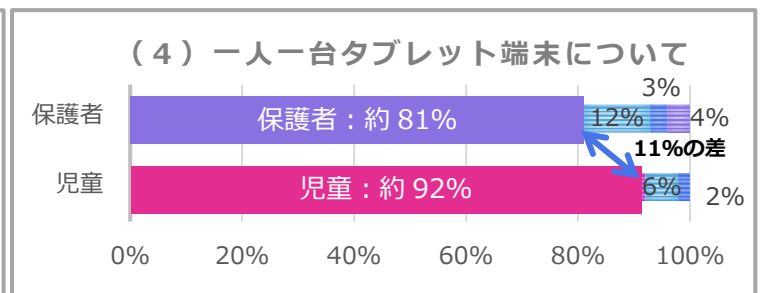
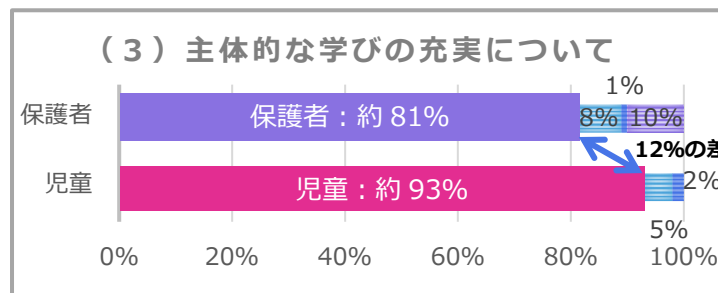
さて、アンケート項目の中で、児童と保護者の皆様の双方が9割以上肯定的な回答をされた項目に「(1)異学年交流について」と「(2)人権教育の充実について」が挙げられます。



「(1) 異学年交流について」に関しましては、本校の開校当初からの伝統として縦割り班（フレンド班）活動があり、児童の社会性を育てる活動として根付いています。そこから、規範意識の高まりも見られ、挨拶に関しても9割以上の児童が肯定的な回答をするといった結果につながっています。

「(2) 人権教育の充実について」は、西東京市子ども条例や西東京あったか先生を意識し、子どもの人権を意識した指導が実を結んだ結果と言えます。

続いて、児童と保護者の皆様のアンケート結果に大きく差が出た項目について御報告します。「(3) 主体的な学びの充実について」と「(4) 一人一台タブレット端末について」、「(5) いじめ防止に対する取組について」です。



まず「(3) 主体的な学びの充実について」の児童の肯定的な数値は約93%、「(4) 一人一台タブレット端末について」の児童の肯定的な数値は約92%でした。

本校の学校経営方針の具体的な取組の中には「児童自身が『見通し』を立て、自分で決めた方法で調べ考えるなど、児童が学習過程を自己決定する『児童が主体的に学びを選択し、自立した学習者になること』を目指した授業に、学期に1単元以上取り組む」という内容があります。昨年度より校内研究においても、「子ども自ら学び方を選択し、自立した学習者になること」を目指した授業に挑戦し、学ぶ内容や方法などを子どもが自己決定できる授業への転換に取り組んでまいりました。また、タブレット端末を文房具の一つとして、さらにクラウドを活用して情報の共有や共同編集できるツールとして活用してまいりました。

保護者の皆様の「(3) 主体的な学びの充実について」と「(4) 一人一台タブレット端末について」の肯定的な意見はどちらも約81%と児童の肯定的な意見と比べると10%以上の差が出ています。なかなか授業を見ていただける機会がないことや、HPや学校便りなどで具体的な活用場面を発信できていないことが原因として考えられます。特に授業公開の際には、児童が主体的に学ぶ様子やタブレット端末を活用して学習に取り組む様子を直接御覧いただけるように授業公開の内容を意識してまいります。

続いて、「(5) いじめ防止に対する取組について」ですが、児童の約92%が肯定的な回答をしています。いじめ防止について、否定的な回答をしている8%の児童が減るように、さらに道徳や学級活動、生活指導などを通して継続的な指導を行ってまいります。

一方、保護者の皆様の肯定的な答えは、約81%となっており、児童の意識と大きく開いておりますが、否定的な回答は約4%、「分からない」と15%の方がお答えになっていました。

今年度は、第1回目の保護者会や6月号の学校便りなどにおいても、「学校いじめ防止基本方針」やいじめの認知や解消についてお伝えしてまいりました。いじめの対応については、学校と保護者の皆様が共通認識をもった上で、関係諸機関と連携しながらスピーディーに対応していかなければいけないと考えております。

学校のいじめの対応について、今以上に保護者の皆様に伝える機会を増やすことで、さらに御理解いただけるように改善してまいります。

今回いただいたアンケート結果を校内で共通理解し、学校教育の改善に生かしてまいります。今後とも御理解と御協力よろしくお願いいたします。

